

ある外科医の独り言

友情 高 勝義

先月の「友情」で、大々的に行われた「友情」の公演。その舞台は、学校をイメージした、教室の椅子が並べられて、中学生の演技が始まった。劇の内容は、学校から転校してきた生徒が白血病であり、友人をめぐって、仲間から恐れられ、力を合わせて白血病の友人のために努力し、変化していく過程を描いたものである。

ある民宿の中で、生徒一人一人が、自分のあるまを全て告白し、誰でもが悩みや苦しみをもちながら生きていることが分かってくるシーンなどは、まさに心うたれ、涙が流れて仕方なかった。演技をしている子供たちは、全員が丸坊主になり、演技ではなく、真剣に劇の中の人になりきって、一生懸命演じている姿も、まさに私の心を揺さぶった。演劇の初めの不安はどこえやら。終わってみると、充実感で一杯であった。

私たちの仕事も日常も、考えてみれば一つの演劇かもしれない。観客を気にすることなく、毎日の医者としての仕事を、夫や父親としての家庭を、真剣に演じることが人々を感激させ、充実した人生を送ることになるのかもしれないと思った観劇であった。(山下病院 院長)

貴船小学校の生徒さん課外授業で当事務所を訪問

この程、貴船小学校五年生三人が先生と一緒に来所。今小学校は、課外授業を積極的に取り組んでいる。学校のある地域の人達に、自分の関心のあるテーマについて教えてもらおうというもので、訪問した三人の男子生徒は、ボランティアについて。質問は「何をしているのですか」「ボランティアをしようという気持ちですか」など。分かってもらえないかな、と心配しながら、ミニデイサービスのお年寄りのことを一生懸命お話しさせていた。とても真剣で、目が輝いていた。先生が「きつと何か感じましたか」とも真剣で、目が輝いた。十五分の短い交流でしたが、気持ちがあさわやかになった。「君たちは何故ボランティアに関心があったのですか」と聞いてみたら「何となく興味があった」「正直な答だった。地域でこんな交流が出来るなんてすばらしい。」

ミニデイサービス便り

Hさんのこと

Hさんの誕生日がきた。Hさんは、嬰鑠(かこ)とした89歳。今でも自転車でもどこでも出掛けられる。長い人生には、言葉にできない様々な出来事があられたに違いない。にもかかわらず、今をキッと生きておられる。

どんな新しいこと、難しいことでも挑戦される精神は見事としか言いようがない。最初にピアノに触られたのがもう何年前になるでしょうか。「百姓しかやったことがない私に、そんなこと出来ない」としばらくはされませんでした。

ところが、いつの間にか30曲くらい楽譜を暗譜、見事なピアニストになって下さった。辛いことがあって、夜中に目が覚めると、無心でピアノの練習をしたとおっしゃる。今は、美空ひばりの「川の流れるように」の楽譜をいつも手元に、猛練習中である。

難しい曲だが、Hさんなら挑戦されると思っている。笑顔が大変すばらしい一人暮らし。「子供がいないので誕生会なんてやってもおっつたことがない。本当に嬉しい」といつもは「ハッピーステイユー」を必ずピアノを弾いて祝われる。人生のお手本である。いつまでもお元気で!

☆10月のミニデイサービスは
保育園 10/11、25 事務所 10/4、18、20 早稲こぞ



8月会員登録状況

協力会員	41人
利用会員	61人
賛助会員	110人
計	212人

8月有償活動

在宅活動件数	25件
活動人数	19人
活動時間	261.5時間
ミニデイサービス利用者	56人
移送サービス 利用件数	101件

8月介護保険訪問活動

訪問件数	50件
家事	391.5 時間
複合型	312 時間
身体	285.5 時間
合計	989 時間

11月の定例会は
11月4日(日)事務所 9時30分~12時30分
◆定例会 9時30分~10時30分
◆勉強会 10時30分~12時30分
内容「ワーカーができるリハビリについて」
講師の先生のお話をお聞きします
この日の午前のケアはお休みです
利用者さんよろしくお願ひ致します

- 10月の予定
- 1日(月) 会報「まごころ」発行
コーディネーター会議
-宮僚ボランティア 楠、小島
 - 4日(木) ミニデイサービス (場所・事務所)
-宮僚ボランティア 宮田、大橋
 - 5日(金) 「貴船公民館」にて会の説明 平田
 - 7日(日) 定例会
 - 10日(水) ミニデイ委員会
 - 11日(木) ミニデイサービス (場所・保育園)
-宮僚ボランティア 石原、牧野
 - 運営委員会
 - 14日(日) あいち宅老連絡会
 - 15日(月) -宮市介護サービス事業者連絡協議会
コーディネーター会議
-宮僚ボランティア 谷、小木曾
 - 16日(火) 「千秋病院ボランティア学校」にて会の説明 平田
 - 18日(木) ミニデイサービス、ミニデイ定例会 (場所・事務所)
-宮僚ボランティア 楠、古田
 - 20日(土) 福祉とボランティア展 ミニデイ参加
 - 21日(日) " ミニデイ参加
 - 22日(月) コーディネーター会議
-宮僚ボランティア 岩田、築城
 - 22・23日(月・火) 銅ホームヘルプサービス研修会 浦安市
 - 24日(水) ミニデイ委員会
 - 25日(木) ミニデイサービス (場所・保育園)
-宮僚ボランティア 倉知、田中
 - 理事会
 - 29日(月) コーディネーター会議
-宮僚ボランティア 安藤、鈴木



「会報100号」にあたり、当会をご利用いただいた皆さまやボランティアに参加の皆さまの造詣深い川柳、俳句、短歌をお寄せいただき、会報に華を添えていただきました。

私の川柳 沢田清敏
枯野残照まだときめきの絵をさがす
車椅子を励ます位置で野菊咲く
生き恥をとことん晒すわが美学
ロボット介護はやはり断ろう
ほとけに近づかずかだんだん垢が減る

楓櫃の実しるべに夫よ彼岸路
曼珠沙華我が庭隅に群立す
武末 芳子

やっとなつと「川の流れ」の弾けし夜
楽譜貫らいて幾十日ぞ
「まごころ」へ今日は行く日と心弾む
与えられし楽譜も読めて
傘寿すぎ今青春と想ふ日々
「まごころ」知りて生かされる身は
今枝志よう

我が体を支えし足のサポーター
枷解くごとく夜の床に外す
堀場 笑子

水草のその名は知らずめぐりあい
夏の夕辺の思い出なつかし
夢に見し里の面影木槿咲き
川辺に続く細き小道に
大塚 富子

先導は米寿の女の太鼓
ドンで始まるまごころ楽団
週一回の送迎ボランティア任されて
キツと見つむるシルバーマーク
母の背に揺られつつ聞きし機音
ときの彼方の潮騒に似て
「寂しい」と言はない嘘を閉じ込めて
孫への手紙ポストに落とす
弁解も本音も言わぬ友の肩
尖りて寂びし後ろ姿は
築城 基裕